

テトラック法尻ブロック

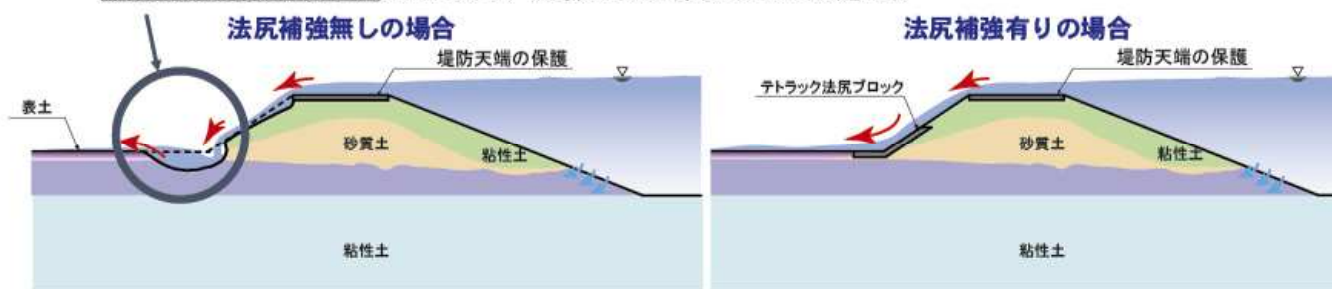
危機管理型ハード対策「法尻の補強」



危機管理型ハード対策、粘り強い構造の堤防の整備

●堤防裏法尻の補強

裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には
深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



テトラック法尻ブロックの特長

- 堤防上に設置する場合、突起部以外を堤防内に設置する場合、また用地境界の位置に対応した断面が可能です。
- 亜鉛-アルミニウム合金メッキ鉄線(φ8mm)により法面および平場部を格子状に連結させることで、フレキシブルな群体構造としております。
- 上端部および平場部端部にすり付ブロックを使用することで、越流水による上端部の堤防侵食を低減し、平場部端部の流水作用による鉛直方向の侵食を抑えることができます。
- 透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{cm/s}$ 以上のポーラスコンクリートであるため、雨水や浸透水の滞留を防ぐことができ、碎石層および水抜き穴は必要ありません。※1 ※2
- 堤防法尻基礎ブロックやすり付ブロックを使用することで、現場打ちコンクリート打設が不要となり、延長方向に進みながら施工が可能で工期が短縮できます。
- 表面は菱形突起(8cm・5cm)とし、越流水の流速を低減することができる。

呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)
テトラック法尻ブロック 標準ブロック	506		1198×1198×230
テトラック法尻ブロック すり付ブロック	374		1198×800(1060)×230
テトラック法尻ブロック 平場Aブロック	284		1198×700×230
テトラック法尻ブロック 平場Bブロック	116		1198×300×230
テトラック法尻ブロック 平場Cブロック	332		1198×800×230
テトラック法尻ブロック 平場Dブロック	244		1198×700×150
テトラック法尻ブロック 平場Eブロック	292		1198×800×150
堤防法尻基礎ブロック 400型	483		1198×500×400
堤防法尻基礎ブロック 500型	612		1198×500×500

製品明度

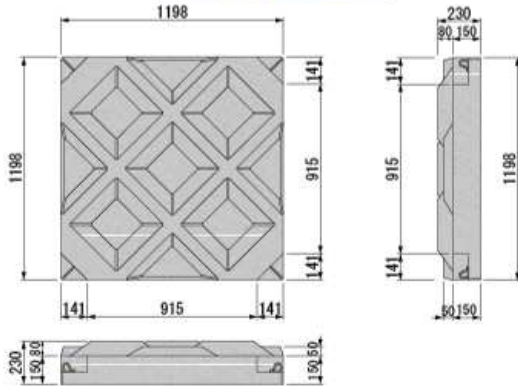
平均明度	3.0
証明書番号	1103号

製品テクスチャー

輝度の標準偏差	4.4
証明書番号	0118号

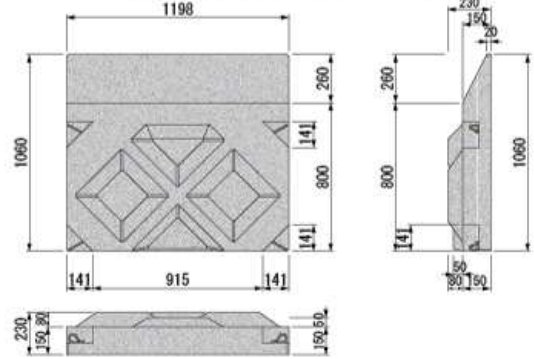
単体図

標準ブロック

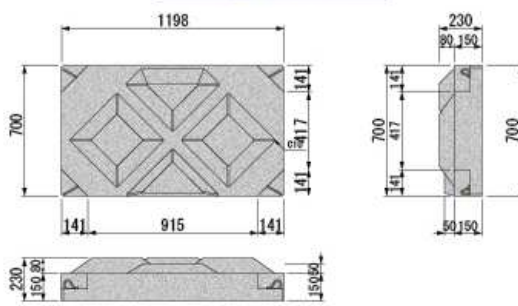


すり付ブロック (1:2.0用)

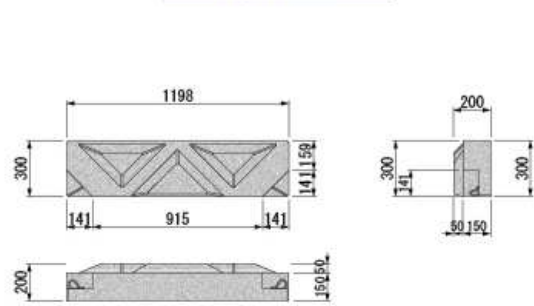
(※別途1:1.5に対応した規格もあります。)



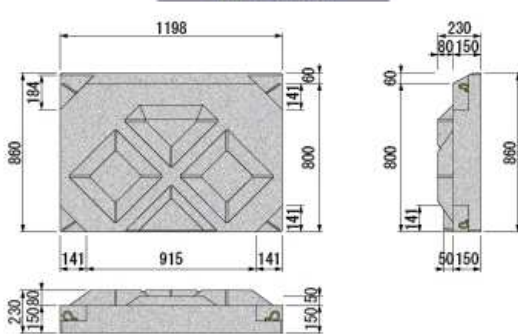
平場Aブロック



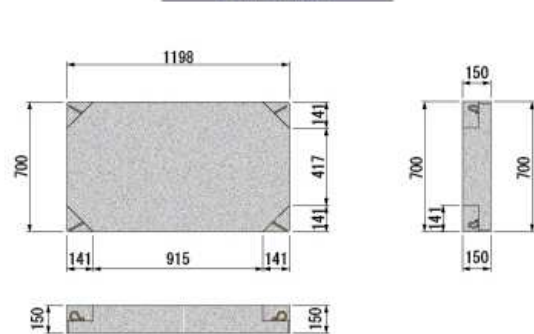
平場Bブロック



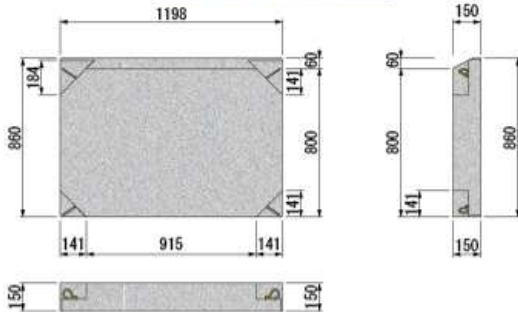
平場Cブロック



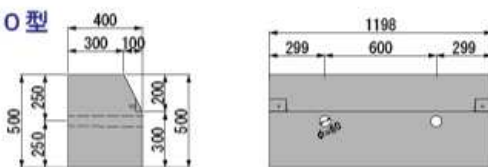
平場Dブロック



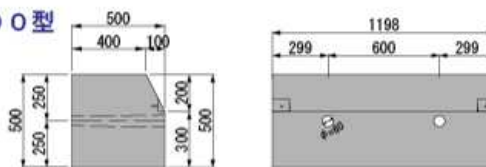
平場Eブロック



400型



500型



テトラック法尻ブロック NETIS登録 SK-170003-VE

紹介

河川

暗渠・防火水槽

下水道

道路

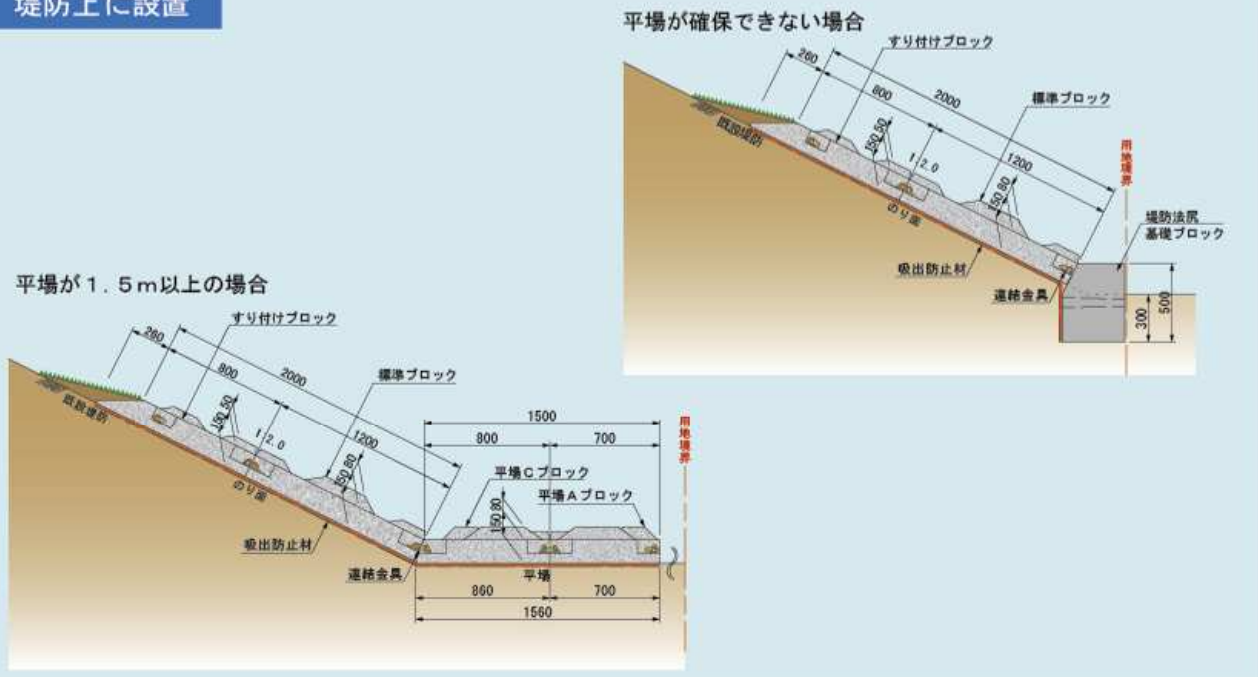
擁壁

水路

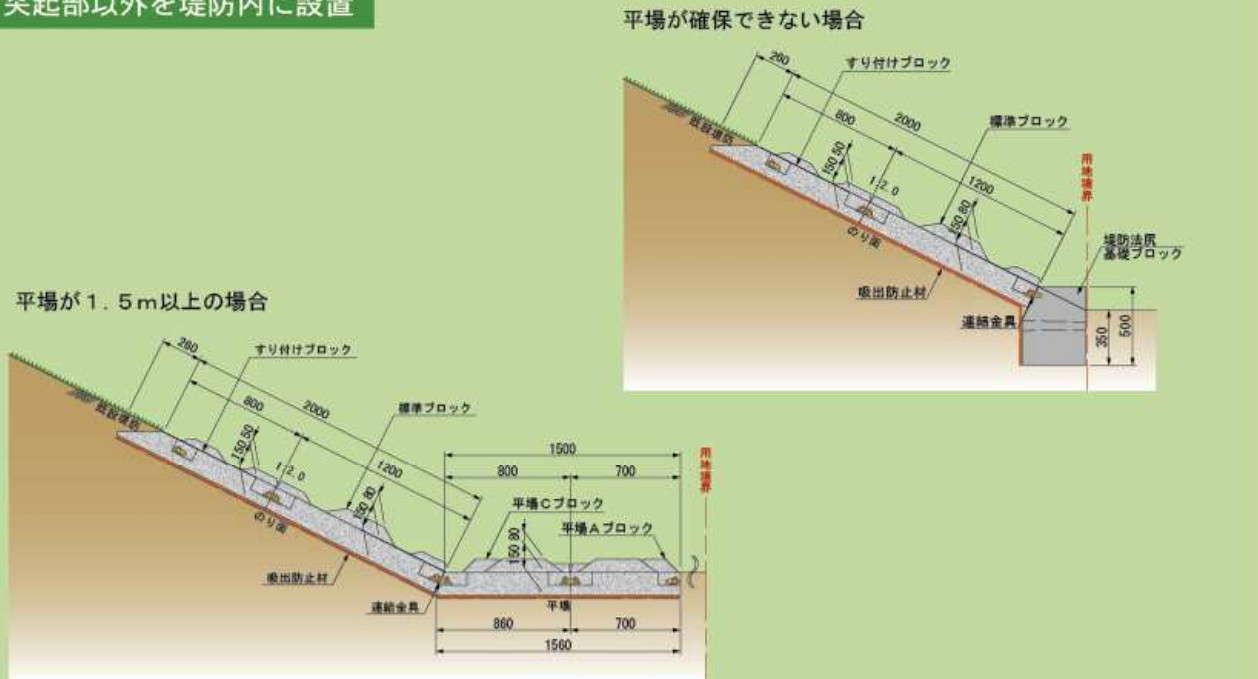
その他

標準断面図 (平場寸法はブロック組合せで変更が可能です)

堤防上に設置



突起部以外を堤防内に設置



※1 上端部の雨水の滞留を抑制

※2

ブロックが透水し堤防の浸透に対する安全性に影響しない

施工例

堤防上に設置

平場有り



平場無し

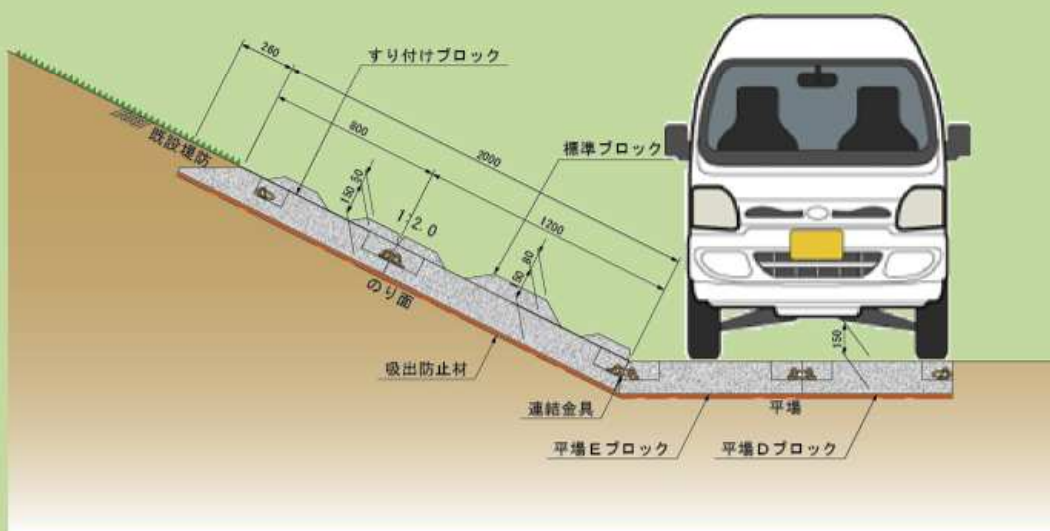


突起部以外を堤防内に設置

平場有り



平場無し



Eブロック、Dブロックを使用することで軽車両や農業機械が通行することが可能です。